

式　辞

2021.11.6

本日ここに、大阪市立天下茶屋小学校創立百周年記念式典を挙行するにあたり、ご出席の皆さんには、公私共ご多用の中、ご臨席を賜り、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。

一昨年以来、新型コロナウイルス感染が流行し、世界は歴史上類のない困難に直面しています。皆さまにおかれましては、不安な日々を送られてきたとお察し申し上げます。1年延期しました上に、今日このような制限の中での式典となりましたことを、心よりお詫び申し上げます。

本校は1921年大正10年1月8日に開校いたしました。その間、大正・昭和・平成・令和と時代の変遷とともに社会情勢の変化、教育制度の改革等、激動する社会の流れに適応しながら、幾多の苦難を乗り越

え、輝かしい歴史と伝統を築いてまいりました。

ひとえに地域、保護者、卒業生の皆様方、歴代校長先生方はじめ、教職員の方々のご尽力、ご努力の結晶であると心から感謝申し上げます。

さて、本日の記念式典にあたり、児童の皆さんに未来の話をしたいと思います。例えば十年後、世の中はどうに変わっていくのでしょうか？おそらく人工知能AIの急激な発達によって、現在日常的に行われている仕事のほとんどをロボットが行うようになります。

現在でもルンバのようなお掃除ロボットは活躍していますし、初心者が不得意な縦列駐車を自動的にやってくれる機能も搭載していますし、高速道路でも自動運転できるところまで来ています。「オッケーグーグル」と聞けば、月までの距離も、近所のどこにおいしいケーキ屋さんがあるのかも即座に教えてくれます。このようにAIが急速発達していき、ロボットがかなりのことをしてくれる十年後、私たちの仕事はどうな

るでしょうか？

私はこう考えています。AIが高度に発達すればするほど、人間は人間でなければできない仕事をするようになり、人間本来の知恵と力を身に着けることが今まで以上に大切になると思います。ではどうすればよいのでしょうか？二つあると思います。

一つは「新しいこと変化することを想像してわくわくすること。」ロボットはワクワクしませんね。そしてもう一つは「やさしさ、思いやり」です。一言でいえばいい人柄です。仕事は人柄のいい人としたほうが楽しいでしょう。

これからは、「新しいことを学ぶことにわくわくしてください」そして「やさしさ、思いやりを意識して人柄を高めることに挑戦してください。」それがこの先の世界を生き抜く方法でもあります。皆さんの成長が、本校のさらなる伝統を築いていくことになるのです。最後に、本日ご列席頂きました皆様方におかれましては、今日よりのちも、本校が地域の学校として、より

よい教育が推進できますよう、変わりないご支援とご協力をお願い申し上げます。

本校の児童の前途に幸多かれと祈り、今まで携わってくださいましたすべての方々に感謝を申し上げ、式辞といたします。

令和三年十一月六日

天下茶屋小学校 校長 清原良一